

第14回 REIC 防災セミナー 開催のお知らせ

「水蒸気噴火の予測の難しさ 御嶽山を例に」

講演者：山中佳子准教授(名古屋大学)

主催 NPO 法人 リアルタイム地震・防災情報利用協議会
電話 03-5829-6368 (電話番号が変わりました)
公益財団法人 地震予知総合研究振興会

特定非営利活動法人リアルタイム地震・防災情報利用協議会 (REIC) は、主として会員向けに、防災意識の向上と幅広い防災・減災対策の推進に資する目的で、「防災セミナー」を、地震予知総合研究振興会 (ADEP) と共催で定期的開催しております。

今回のセミナーは、下記内容で実施しますので、多数ご参加頂きたいとご案内申し上げます。

講演題目 「水蒸気噴火の予測の難しさ 御嶽山を例に」
講師 山中佳子先生
名古屋大学大学院環境学研究科附属地震火山研究センター 准教授
日時 平成 27 年 4 月 17 日 (金) 17 時 30 分～19 時
場所 地震予知総合研究振興会 会議室
東京都千代田区猿楽町 1-5-18 千代田ビル 8 階
定員 30 名 (先着順)
参加費 1 会員あたり 2 名まで無料
その他(会員 3 名様以上、非会員)、1 名 2,000 円
申込先 リアルタイム地震・防災情報利用協議会 事務局 まで
申込方法 電子メールまたは FAX

電子メール reic_jimukyoku0305(at)eq7realtime.org ※(at)は@に置き換えて下さい

FAX 03-3865-1844 (FAX 番号が変わりました)

第 14 回 REIC 防災セミナー申込書

会員名 (会社名)		
申込者		
申込者連絡先	電話	
	メールアドレス	

参加者

氏名	所属	会員	電話	メールアドレス
		会員 非会員		
		会員 非会員		
		会員 非会員		

会員の欄は、会員・非会員いずれかを囲んでください。会員の場合でも、3 名様以上は有料になります。

講演内容

2014年9月27日御嶽山が噴火し、死亡57名、不明6名という大惨事となりました。

御嶽山は活火山ですが、日頃はほとんど地震活動がありません。

1979年に噴火あたりから周辺での地震活動が活発化し、1984年には長野県西部地震が発生し、御嶽山が崩れ大きな被害を出しました。その後も周辺の地震活動は活発で、現在でも北東に拡大しながら活動を続けています。これまで名古屋大学では御嶽山の活動及び群発地震活動を意識した地震観測を行っています。

今回の噴火に関しては9月より山頂直下の地震活動が活発化しました。それにともない観測点を強化するなど地震活動の推移を気にしていましたが、噴火を予測することはできませんでした。

講演では御嶽山がどのような火山であるのか、そして水蒸気噴火の予測の難しさなどを紹介します。

講演者略歴

- ・平成5年 東京大学地震研究所地震予知情報センター助手、ネットワーク管理などをしながら世界で発生する巨大地震の準リアルタイム震源過程解析や古い地震記録の解析からアスペリティマップの作成。
- ・平成19年 名古屋大学大学院環境学研究科地震火山防災研究センター准教授。
- ・当センターでの地震火山観測の維持および活用を担うとともに低周波地震の解析、南海トラフ地震解明を目指して歴史地震学を開始。

会場

〒101-0064 東京都千代田区猿樂町 1-5-18
千代田ビル 8階

